



2006年度 第3四半期のご報告 2006年4月1日から2006年12月31日まで

# BUSINESS REPORT 2006 JEM TODAY

**JEM 日本電子材料株式会社**  
証券コード:6855

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町二丁目5番13号 TEL.06-6482-2007  
<http://www.jem-net.co.jp>

POST CARD

第3四半期の情報は、中面をご覧ください。

TOP MESSAGE

## ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。2006年12月31日をもって2006年度第3四半期を終了しましたので、営業の概況をご報告いたします。当第3四半期の決算(連結)は、おかげさまをもちまして増収増益となり、売上高・営業利益・経常利益・純利益すべてにおいて前年同四半期を上回りました。半導体市場の拡大テンポが下期に入ってやや減速し、当社グループの主力製品、プローブカードの売上もその影響を受けましたが、10~12月も前年同期を上回る売上高を確保しました。今回より四半期ごとの発行となりましたJEM TODAY、またホームページ、会社説明会などを通じて、今後も株主の皆様への情報提供をより充実させてまいります。引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長  
**坂根英生**



TOPICS

2006年12月「SEMICON Japan 2006」に出展



世界最大の半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON」が、2006年12月6~8日、幕張メッセで開催されました。SEMICON Japan 30周年ということもあり、過去最大の規模となったこの展示会には世界各国より約1,600社の企業が参加。当社ブースに展示されたプローブカードの中では、MEMS技術を採用した製品(LCD-Dr向けMAシリーズ、メモリデバイス向けMCシリーズ)や、CMOSセンサ向けレンズモジュール搭載カード、300mm一括測定VC430などのアドバンスカードが注目を集めました。

2006年12月 個人投資家向け会社説明会開催

2006年12月12日、大阪にて個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。会場には200名を超える個人投資家の皆様をお迎えし、当社製品の概要や経営方針、半導体業界の現状などを詳しく説明。最後に投資家の皆様へお願いしたアンケートでは、当社の安定性、成長性に期待するご意見を多くいただきました。

●JEM TODAYは年4回発行。最新情報をお届けします。

JEM TODAYは今後、四半期ごとに年4回の発行を予定しております。なお、通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様、中間期報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様にお送りします。



●当社HP「投資家情報」をリニューアルしました。

一般投資家の方によりわかりやすい内容を目指し、2007年1月、「投資家情報」を全面刷新しました。ぜひご覧ください。

当社ホームページ：  
<http://www.jem-net.co.jp>



●アンケートにご協力ありがとうございました。

本年度中間決算時の「JEM TODAY (旧・事業報告書)」リニューアル、また株主優待実施(“七城のこめ”贈呈)を機に株主の皆様アンケートをお願いしたところ、360人を超える方から貴重なお意見、激励をいただいています。集計結果は「JEM TODAY 通期報告」でご報告します。

●株式関係のお手続きはお電話、HPにて。

株式関係のお手続き(住所変更・名義書換等)の用紙は、三菱UFJ信託銀行(株)の電話またはホームページで24時間ご請求いただけます。

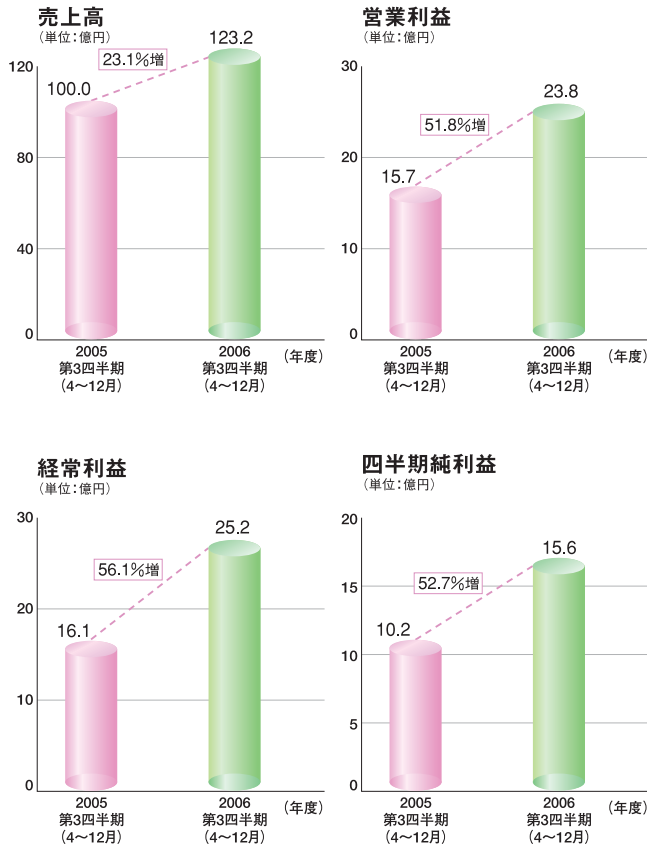
電話: ☎0120-244-479 (本店証券代行部)

☎0120-684-479 (大阪証券代行部)

ホームページ: <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>



業績の概況



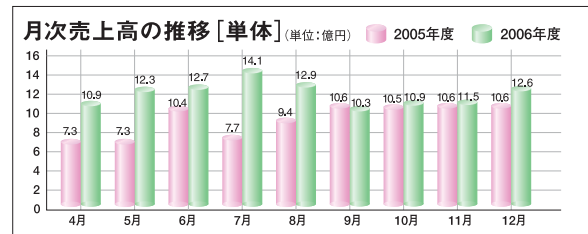
事業環境

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、NAND型フラッシュメモリー※1の価格下落、一部製品における在庫調整等により、下期に入りやや減速感がみられましたが、DRAM※2の出荷は好調が続き、メーカーの設備投資も積極的であり、総じて好調基調で推移しました。

※1 電気的一括消去・再書き込み可能なメモリー  
※2 記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しメモリー

売上・収益動向

上期に好調だったNAND型フラッシュメモリー向けアドバンスプロブカードは、下期に入って半導体メーカーの生産調整の影響でやや伸び悩みましたが、DRAM向けはVCシリーズを中心に大きく売上を拡大しました。また、システムLSI向けは、難易度の高いCEシリーズ(カンチレバー型プロブカード)を中心に引き続き好調に推移しました。総じて下期に入り減速はしたものの、10~12月も前年同期間を上回る売上高を確保しました。



以上の結果、当第3四半期の売上高は123億2千万円(前年同四半期比23.1%増)、営業利益は23億8千9百万円(同51.8%増)、経常利益は25億2千万円(同56.1%増)、四半期純利益は15億6千8百万円(同52.7%増)と、すべてにおいて前年同四半期を上回りました。なお、8月に上方修正した通期の連結業績予想は、達成の見込みです。